

東高だより

「良い学校」

校長 二瓶 晃一

良い学校とは。

私は、生徒が卒業時にこの学校で3年間学んで良かった、と充実感を持って卒業できる学校であると思います。さらに、やや大げさな言い方かもしれませんが、人生の終わりに自分は良い学校に行ったと思える学校です。

このために学校では、質の高い教育が実践されることが肝要です。そして、生徒一人ひとりが、良き友人、先輩、後輩、卒業生と巡り会い、お互いに切磋琢磨しながら、精神的にも肉体的にもより良き成長を遂げることです。

また、生徒は質の高い教育を受けると同時に、学校の教育価値を高める貢献者です。生徒一人ひとりが、良い学校としての価値を高める担い手となるのです。学校に在籍する良い生徒が、新たな生徒を新入生として招き寄せる、と言っても過言ではありません。

本校は、創立以来「文武両道」を実践し、毎年、国公立大学への合格者数が100名を超え、卒業生は各界で活躍するなど、地域社会に欠くことのできない人材を輩出してきました。

高い志をもって入学してきた皆さんが、本校での学びを充実させ、3年後に本校で学んで本当に良かったと思ってもらえれば幸いです。